鉱 工 業 指 数 参 考 図 表 集

（ 2026 年 1 月 速 報 ）

2026　年　2　月　27　日

経済解析室

URL : https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html

2026年1月の鉱工業指数（速報）各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生　産	出　荷	在　庫	在 庫 率
季調済指数	**104.0**	**102.2**	**98.3**	**101.0**
前月比	**2.2%**	**3.2%**	**0.1%**	**−4.6%**
指数水準	2025.10 104.7以来 Ⅰ2018.3 116.3 Ⅱ2018.10 116.1 Ⅲ2018.12 115.2	2025.10 102.3以来 Ⅰ2018.3,2019.5 116.5 Ⅱ2018.4 116.2 Ⅲ2018.5,10 115.7	2025.10 100.3以来 Ⅰ2023.7 105.7 Ⅱ2023.5,6 105.5 Ⅲ2020.1 105.0	2024.2 99.3以来 ①2018.2 84.6 ②2018.4 84.8 ③2018.6 84.9
前月比の動き	3か月ぶり＋ （2025.10以来）	3か月ぶり＋ （2025.10以来）	2か月連続＋ （2025.12～当月）	3か月ぶり－ （2025.10以来）
前月比幅	2025.9 2.6%以来 Ⅰ2020.7 6.6% Ⅱ2021.11 5.5% Ⅲ2022.6 5.0%	2024.3 4.1%以来 Ⅰ2021.11 6.4% Ⅱ2020.7 4.9% Ⅲ2020.9 4.2%	2025.12 0.9%以来 Ⅰ2021.9 2.1% Ⅱ2022.2 1.8% Ⅲ2021.11,2022.9 1.7%	2024.2 −5.9%以来 ①2020.7 −8.2% ②2020.2,9 −6.6% ③2020.6 −6.4%
前年同月比（原指数）	**2.3%（96.6）**	**2.0%（94.1）**	**−4.2%（98.5）**	**−3.8%（110.8）**
前年同月比の動き	2か月連続＋ （2025.12～当月）	2か月連続＋ （2025.12～当月）	12か月連続－ （2025.2～当月）	5か月連続－ （2025.9～当月）
前年同月比幅	2025.12 2.6%以来 Ⅰ2021.6 21.8% Ⅱ2021.5 19.3% Ⅲ2021.4 14.3%	2025.9 2.5%以来 Ⅰ2021.5 20.8% Ⅱ2021.6 18.6% Ⅲ2021.4 15.8%	2021.7 −4.3%以来 ①2021.1 −10.0% ②2021.4 −9.9% ③2021.3 −9.7%	2021.8 −11.4%以来 ①2021.5 −26.5% ②2021.4,6 −21.4% ③2021.7 −13.5%

1） Ⅰ～Ⅲは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

2026年1月の鉱工業生産の基調判断

「生産は一進一退」

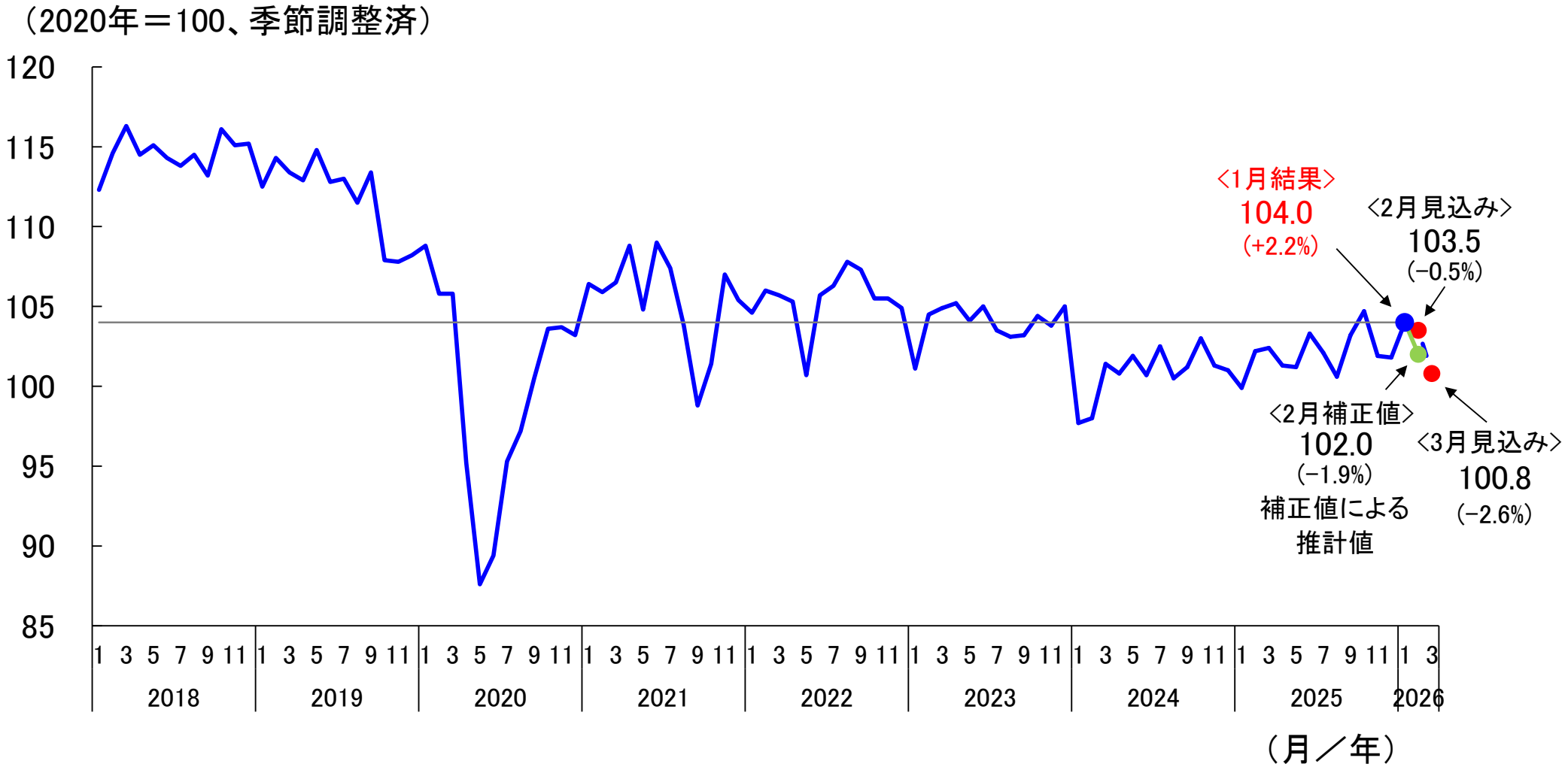
基調判断の推移

2020年6月	（↑）	「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」
2020年7月	(→)	「生産は持ち直しの動き」
2020年8月～2021年7月	（↑）	「生産は持ち直している」
2021年8月～10月	（↓）	「生産は足踏みをしている」
2021年11月～2022年3月	（↑）	「生産は持ち直しの動きがみられる」
2022年4月	（↓）	「生産は足踏みをしている」
2022年5月	（↓）	「生産は弱含み」
2022年6月～7月	（↑）	「生産は一進一退」
2022年8月～9月	（↑）	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2022年10月	（↓）	「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
2022年11月～2023年2月	（↓）	「生産は弱含み」
2023年3月～6月	（↑）	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2023年7月～12月	（↓）	「生産は一進一退」
2024年1月～6月	（↓）	「生産は一進一退ながら弱含み」
2024年7月～	（↑）	「生産は一進一退」

（注）「↑」前回の基調判断から上方修正、「↓」前回の基調判断から下方修正、「→」表現変更

鉱工業生産指数の動向と先行き

・2026年1月の鉱工業生産指数は、104.0(前月比2.2%)と3か月ぶりの上昇。



(注)鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2020年)の12か月平均＝100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標
(注)補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したもの
(注)見込みの前月比は、製造工業生産予測指数の前月比を記載している

2026年1月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

・2026年1月の鉱工業生産指数は、104.0（前月比2.2%）と3か月ぶりの上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【上昇方向に寄与】 鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	9.1%	1.16%pt
	品目	普通乗用車	22.9%	1.12%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	14.3%	0.20%pt
	2位の業種	プラスチック製品工業	8.1%	0.35%pt
	品目	プラスチック製機械器具部品	7.5%	0.11%pt
		プラスチック製フィルム・シート	6.1%	0.09%pt
	3位の業種	化学工業（除．無機・有機化学工業・医薬品）	7.4%	0.33%pt
	品目	頭髪用化粧品	27.3%	0.13%pt
		石けん類	18.4%	0.06%pt
【低下方向に寄与】 鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	生産用機械工業	−2.0%	−0.18%pt
	品目	半導体製造装置	−12.7%	−0.46%pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	−54.4%	−0.21%pt
	2位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	−0.1%	0.00%pt
	品目	印刷用紙（塗工）	−11.2%	−0.02%pt
	3位の業種	−	−	−
	品目			

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。
寄与度：　生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。
季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

2026年1月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

＜全体＞

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を 上昇方向に 引っ張った3品目	1位	普通乗用車	22.9%	1.12%pt
	2位	駆動伝導・操縦装置部品	14.3%	0.20%pt
	3位	分析機器	26.0%	0.19%pt
鉱工業生産を 低下方向に 引っ張った3品目	1位	半導体製造装置	−12.7%	−0.46%pt
	2位	コンベヤ	−55.6%	−0.36%pt
	3位	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	−54.4%	−0.21%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

＜財別＝用途別＞

	解説	品目名	前月比	寄与度
生産財	原材料として投入される製品	生産財	3.4%	1.57%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	14.3%	0.20%pt
		自動車用エンジン	13.2%	0.15%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	4.5%	0.91%pt
		頭髪用化粧品	27.3%	0.13%pt
		石けん類	18.4%	0.06%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	8.8%	0.62%pt
		普通乗用車	22.9%	0.78%pt
		小型乗用車	15.0%	0.10%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	2.4%	0.13%pt
		アルミニウム製建具	9.9%	0.04%pt
		自然冷媒ヒートポンプ式給湯機	19.2%	0.02%pt
資本財 （除．輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除．輸送機械）	−3.1%	−0.52%pt
		半導体製造装置	−12.7%	−0.46%pt
		コンベヤ	−55.6%	−0.36%pt

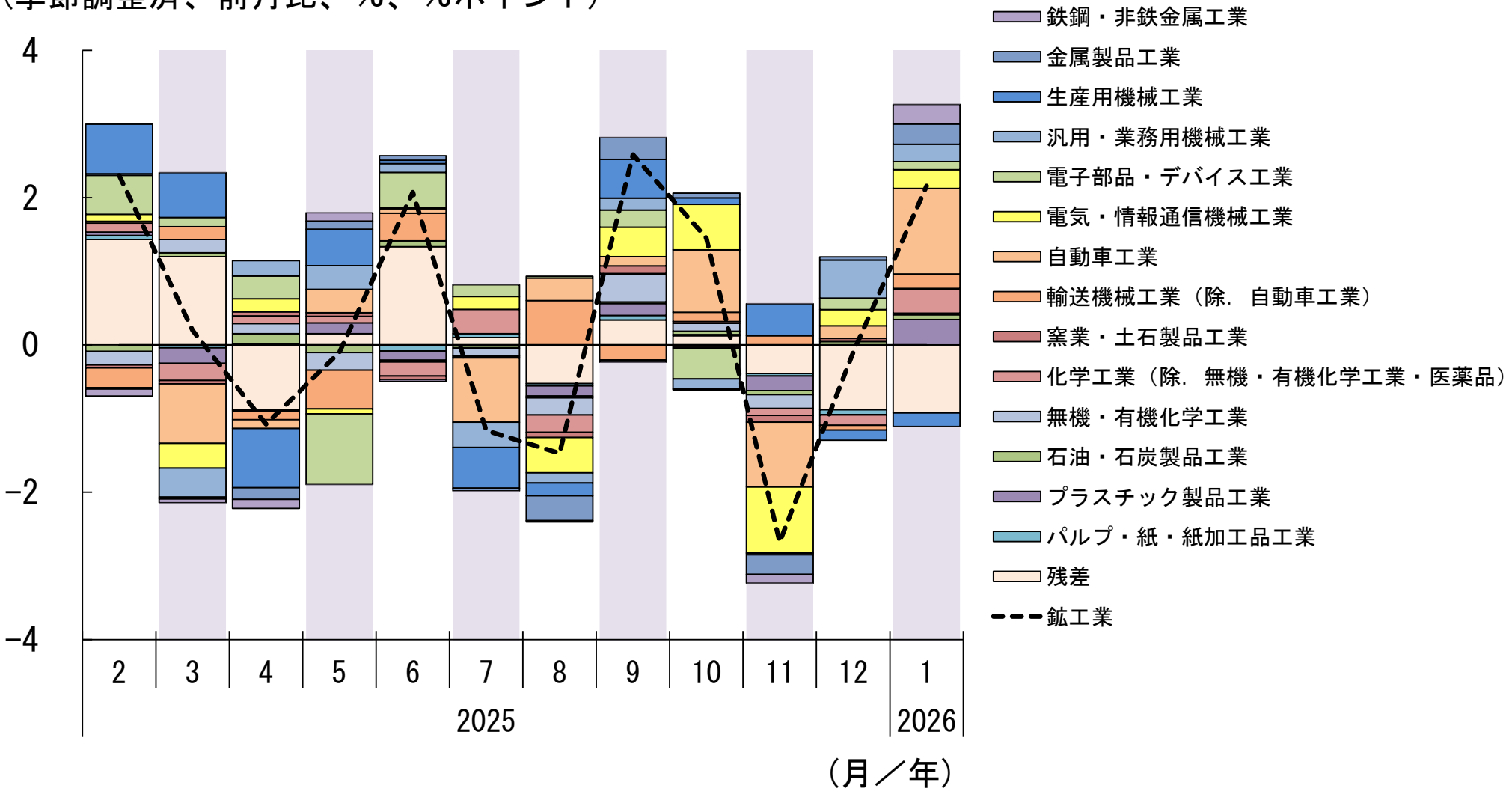
※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度：　生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。
季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

鉱工業生産前月比　業種別の影響度合い

・2026年1月の生産指数は、生産用機械工業などが低下したものの、自動車工業などが上昇したため、前月比2.2%の上昇。

（季節調整済、前月比、%、%ポイント）

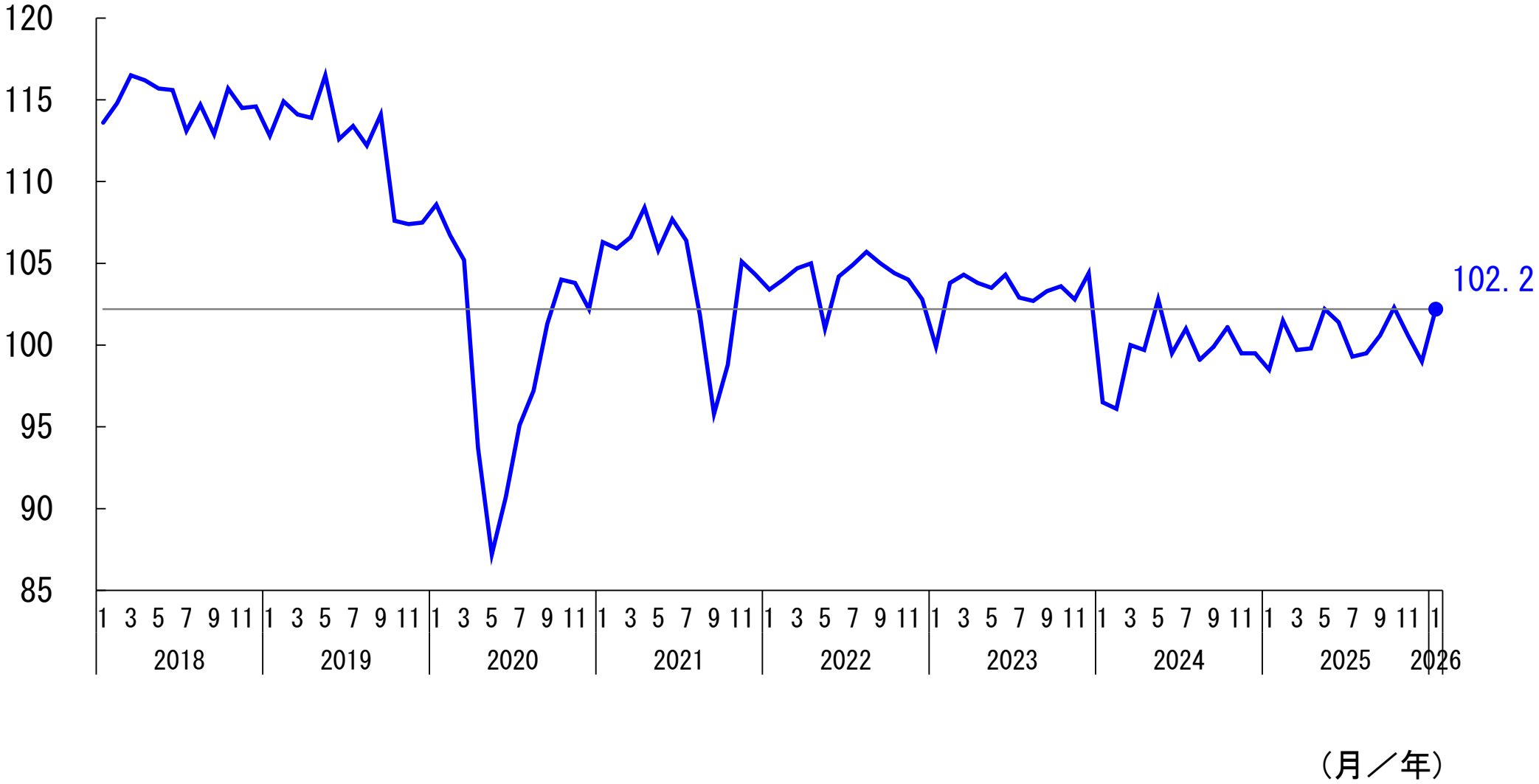


（注）「残差」は、鉱工業生産全体の変動から主要１４業種の影響度を差し引いたものである。

鉱工業出荷指数の動向

・2026年1月の鉱工業出荷指数は、102.2(前月比3.2%)と3か月ぶりの上昇。

(2020年＝100、季節調整済)



2026年1月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（業種別）

・2026年1月の鉱工業出荷指数は、102.2（前月比3.2%）と3か月ぶりの上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
【上昇方向に寄与】 鉱工業出荷を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	8.8%	1.44%pt
	品目	普通乗用車 駆動伝導・操縦装置部品	18.5% 15.1%	1.27%pt 0.26%pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	6.6%	0.52%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池 自動車用電気照明器具	26.0% 16.2%	0.22%pt 0.11%pt
	3位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	6.3%	0.50%pt
	品目	亜鉛めっき鋼板 輸送機器用絶縁電線	14.9% 21.1%	0.06%pt 0.05%pt
【低下方向に寄与】 鉱工業出荷を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	生産用機械工業	−2.0%	−0.16%pt
	品目	半導体製造装置 フラットパネル・ディスプレイ製造装置	−9.9% −48.6%	−0.30%pt −0.18%pt
	2位の業種	輸送機械工業（除．自動車工業）	−4.5%	−0.11%pt
	品目	航空機用発動機部品	−3.2%	−0.03%pt
	3位の業種	−	−	−
	品目			

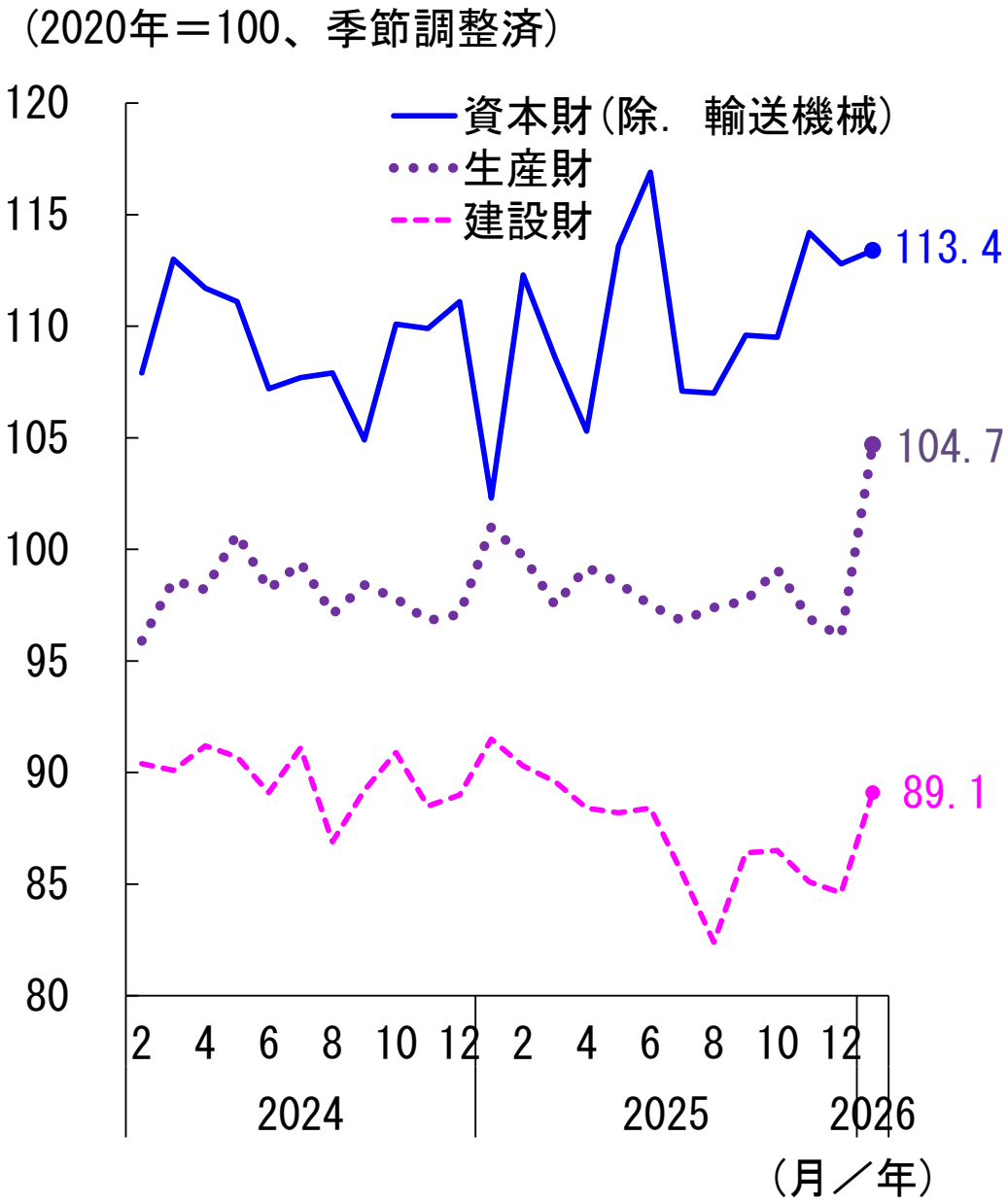
※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。
寄与度：　生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。
季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

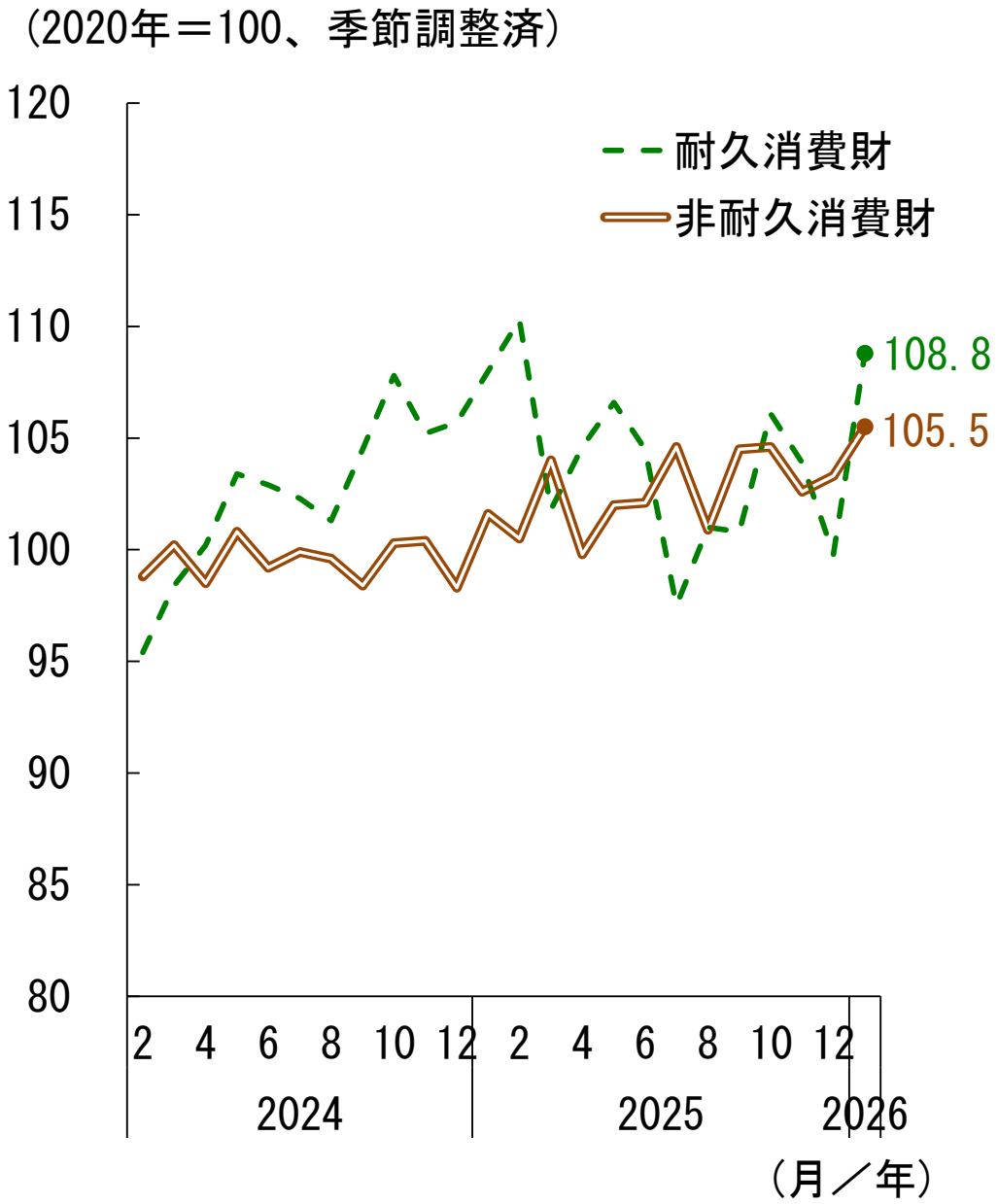
2026年1月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

	解説	品目名	前月比	寄与度
生産財	原材料として投入される製品	生産財	8.9%	4.35%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	15.1%	0.26%pt
		リチウムイオン蓄電池	26.0%	0.22%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	9.0%	0.85%pt
		普通乗用車	18.5%	0.89%pt
		小型乗用車	12.3%	0.11%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	2.1%	0.39%pt
		ガソリン	2.9%	0.04%pt
		乳液・化粧水類	3.7%	0.03%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	5.3%	0.29%pt
		アルミニウム製建具	10.6%	0.05%pt
資本財 （除．輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除．輸送機械）	0.5%	0.07%pt
		ショベル系掘削機械	13.7%	0.15%pt
		分析機器	25.9%	0.13%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。
寄与度：　生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。
季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

財別出荷指数の動向

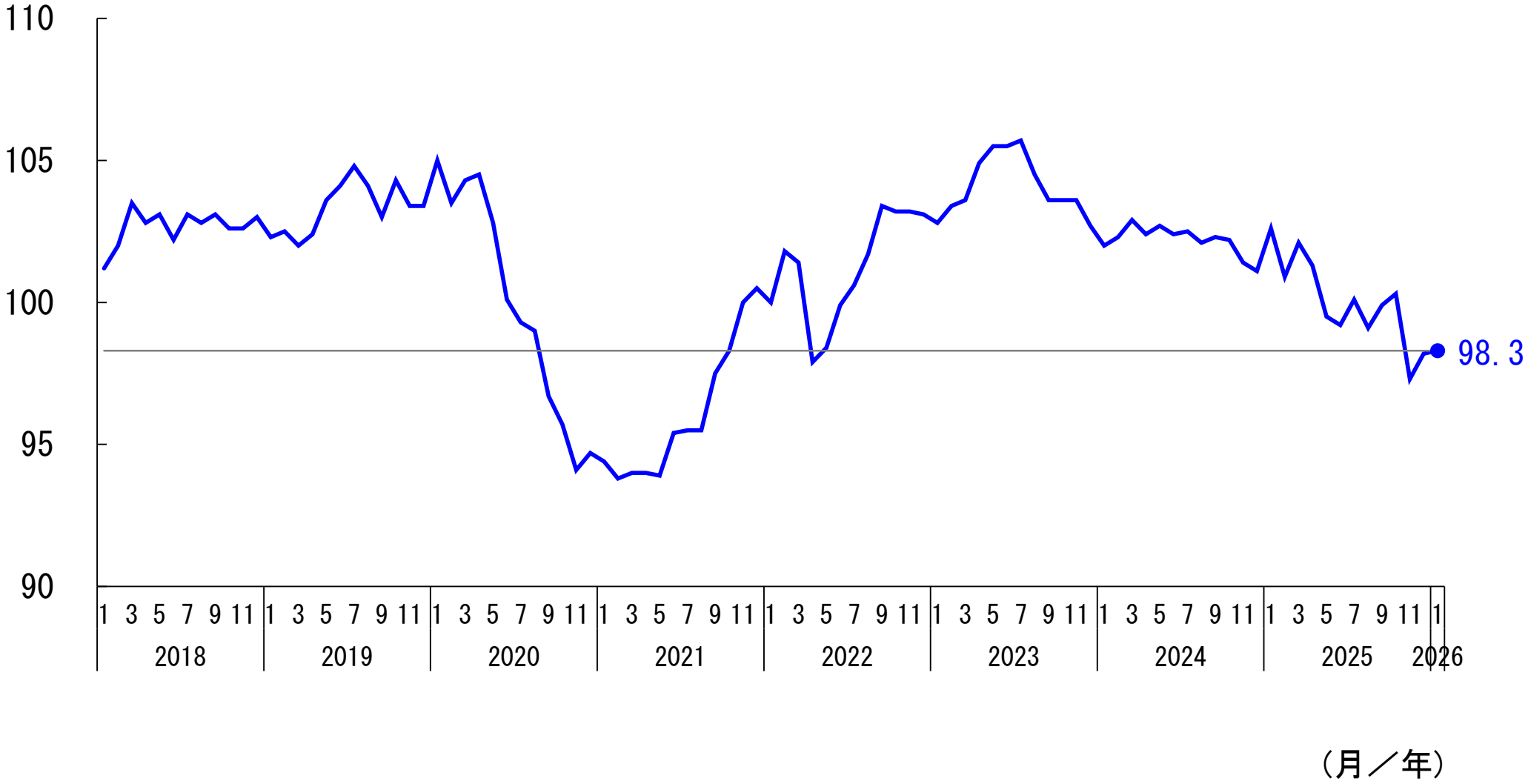

(2020年＝100、季節調整済)
資本財(除. 輸送機械)
生産財
建設財
113.4
104.7
89.1
120
115
110
105
100
95
90
85
80
2 4 6 8 10 12 2 4 6 8 10 12
2024
2025
2026
(月／年)


(2020年＝100、季節調整済)
耐久消費財
非耐久消費財
108.8
105.5
120
115
110
105
100
95
90
85
80
2 4 6 8 10 12 2 4 6 8 10 12
2024
2025
2026
(月／年)

鉱工業在庫指数の動向

・2026年1月の鉱工業在庫指数は、98.3(前月比0.1%)と2か月連続の上昇。

(2020年＝100、季節調整済)



2026年1月の鉱工業在庫指数を大きく動かした品目（業種別）

・2026年1月の鉱工業在庫指数は、98.3（前月比0.1%）と2か月連続の上昇。

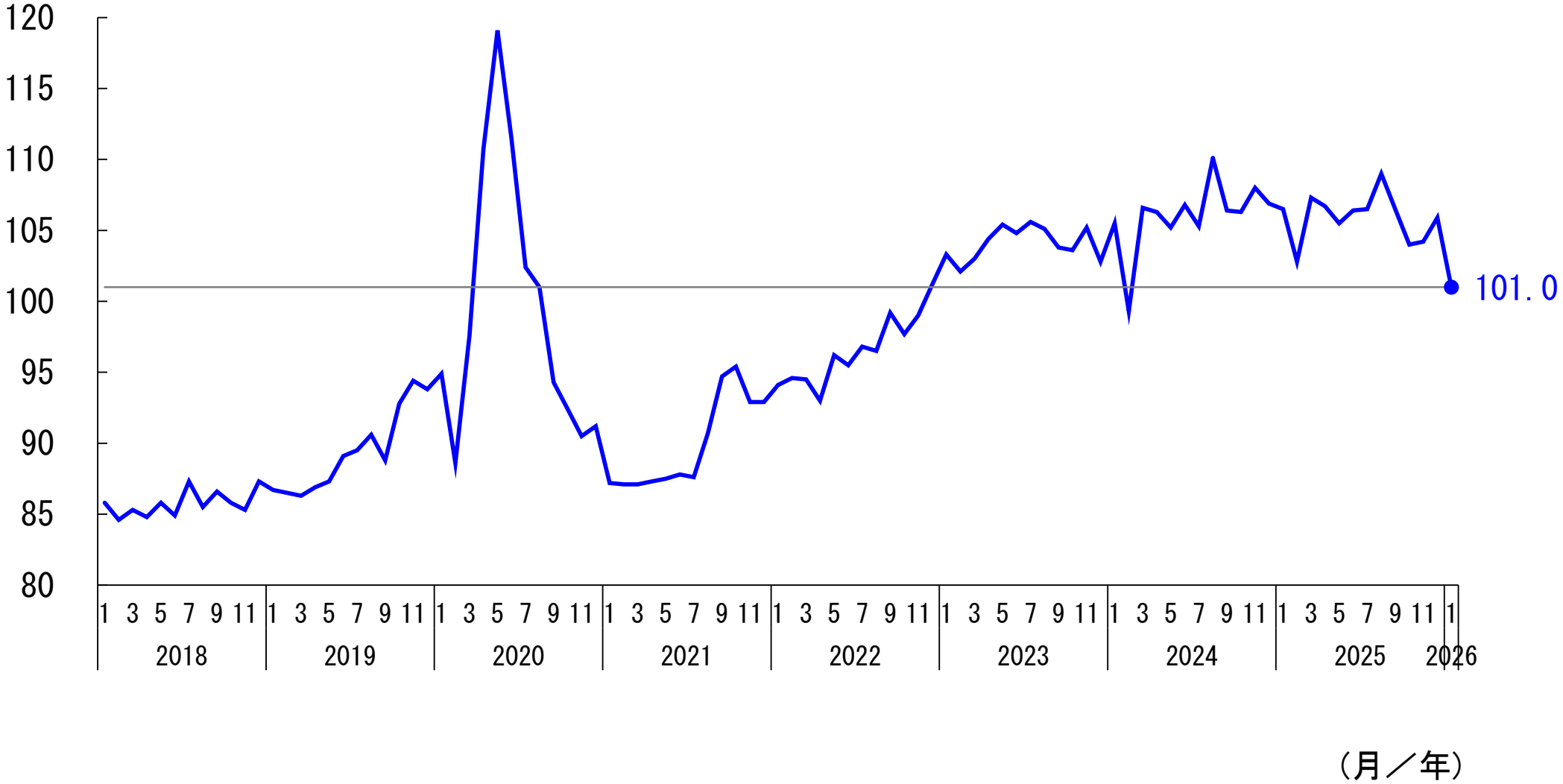
		業種・品目名	前月比	寄与度
【上昇方向に寄与】 鉱工業在庫を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	17.3%	1.12%pt
	品目	普通乗用車	14.2%	0.53%pt
		普通トラック	29.8%	0.33%pt
	2位の業種	生産用機械工業	0.8%	0.06%pt
	品目	電動工具	7.0%	0.04%pt
		栽培用・収穫調整用機器	18.3%	0.03%pt
	3位の業種	汎用・業務用機械工業	0.8%	0.06%pt
	品目	カメラ	19.2%	0.05%pt
		汎用内燃機関	7.1%	0.03%pt
【低下方向に寄与】 鉱工業在庫を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	−7.4%	−0.30%pt
	品目	線形ＩＣ	−11.1%	−0.04%pt
		トランジスタ	−4.4%	−0.04%pt
	2位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	−1.7%	−0.25%pt
	品目	通信用ケーブル光ファイバ製品	−9.7%	−0.07%pt
		普通鋼鋼板	−14.0%	−0.06%pt
	3位の業種	無機・有機化学工業	−1.2%	−0.13%pt
	品目	ポリエチレン	−3.9%	−0.05%pt
		ポリプロピレン	−2.9%	−0.04%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。
寄与度：　生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。
季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

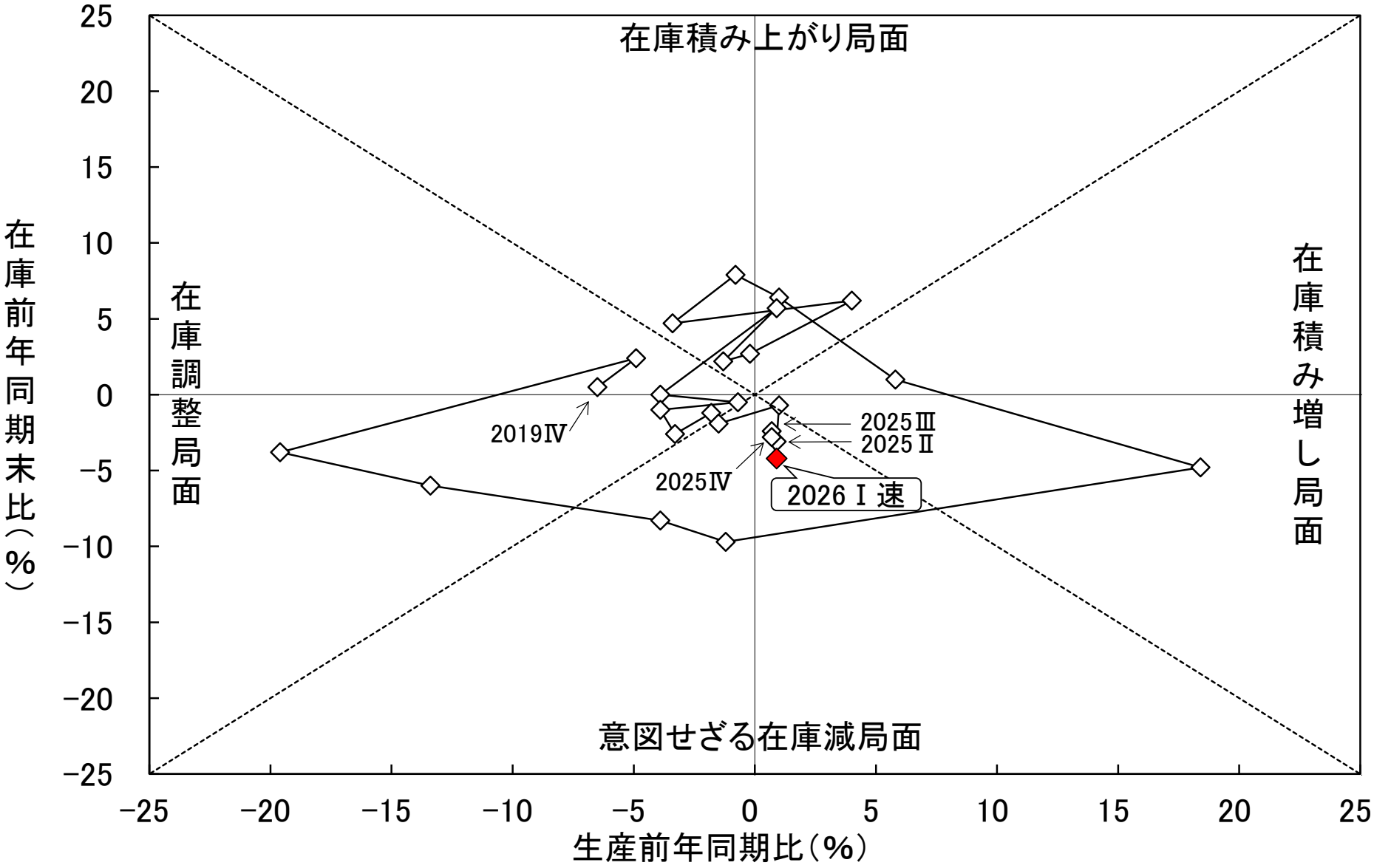
鉱工業在庫率指数の動向

・2026年1月の鉱工業在庫率指数は、101.0(前月比-4.6%)と3か月ぶりの低下。

(2020年＝100、季節調整済)



鉱工業の在庫循環図



（注）「2026Ⅰ速」の生産は11月、12月、1月の平均値、在庫は1月末の値を使用

製造工業生産予測指数　時系列

＜製造工業＞　　2020年 = 100

年　月		季節調整済指数			前月比（%）			実現率（%）	予測修正率（%）
		前月実績	当月見込み	翌月見込み	前月実績	当月見込み	翌月見込み		
2024年	12月調査	101.9	104.1	109.6	▲ 3.0	2.2	5.3	▲ 1.9	0.4
2025年	1月調査	103.6	108.7	107.8	1.7	4.9	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.8
	2月調査	105.3	108.1	105.5	1.6	2.7	▲ 2.4	▲ 3.1	0.3
	3月調査	106.0	106.6	106.7	0.7	0.6	0.1	▲ 1.9	1.0
	4月調査	104.8	106.2	110.3	▲ 1.1	1.3	3.9	▲ 1.7	▲ 0.5
	5月調査	102.6	111.8	108.0	▲ 2.1	9.0	▲ 3.4	▲ 3.4	1.4
	6月調査	105.5	105.8	105.1	2.8	0.3	▲ 0.7	▲ 5.6	▲ 2.0
	7月調査	103.6	105.5	106.3	▲ 1.8	1.8	0.8	▲ 2.1	0.4
	8月調査	102.7	105.6	105.3	▲ 0.9	2.8	▲ 0.3	▲ 2.7	▲ 0.7
	9月調査	101.4	105.6	106.9	▲ 1.3	4.1	1.2	▲ 4.0	0.3
	10月調査	105.3	107.3	106.3	3.8	1.9	▲ 0.9	▲ 0.3	0.4
	11月調査	105.5	104.2	102.1	0.2	▲ 1.2	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.0
	12月調査	100.8	102.1	110.3	▲ 4.5	1.3	8.0	▲ 3.3	0.0
2026年	1月調査	103.3	112.9	108.0	2.5	9.3	▲ 4.3	1.2	2.4
	2月調査	110.1	109.5	106.6	6.6	▲ 0.5	▲ 2.6	▲ 2.5	1.4

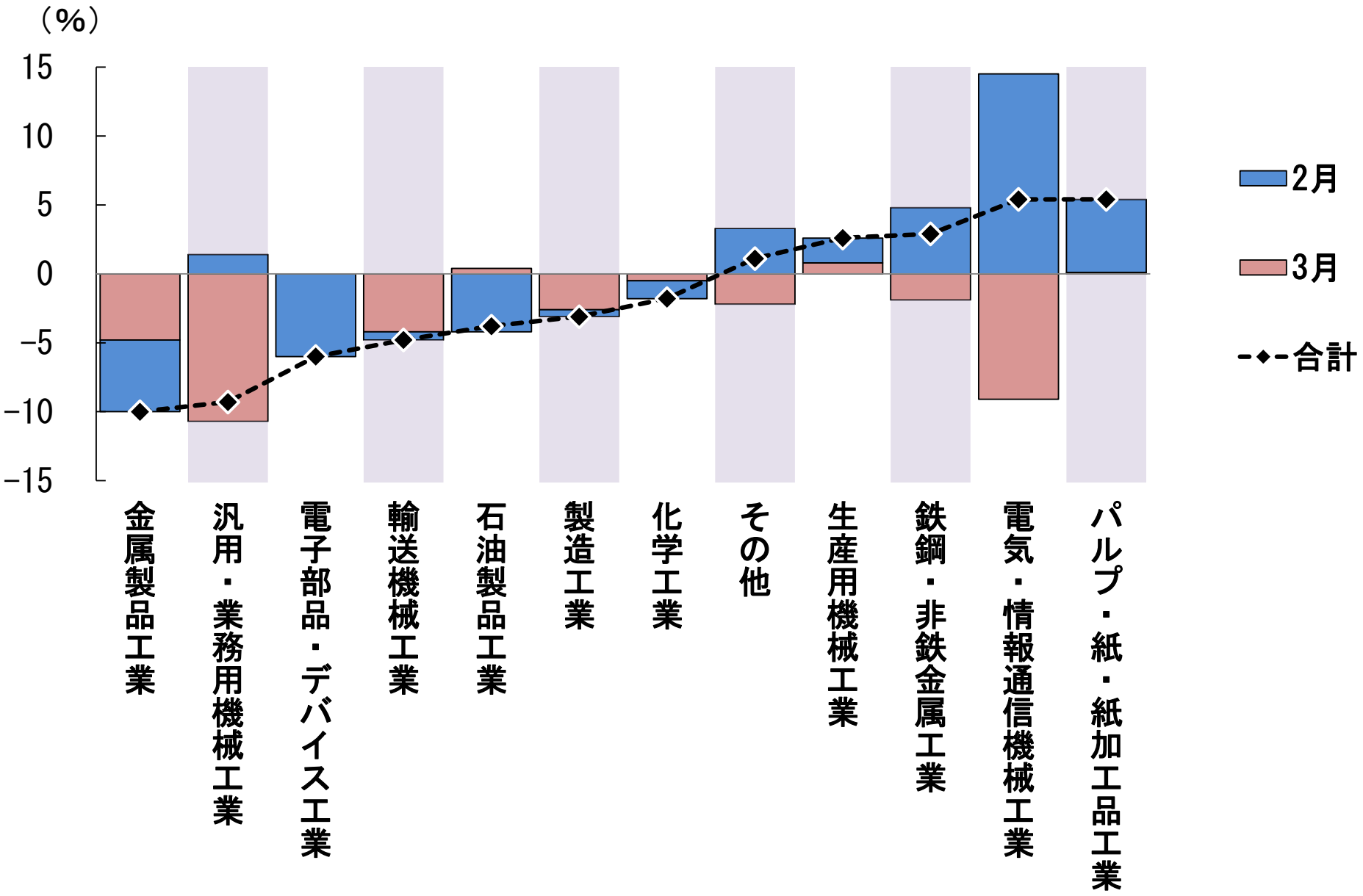
製造工業生産予測指数（当月、翌月の生産伸び率）

	1月調査 （前回）		2月調査 （今回）	2月調査 補正値
2月見込み	-4.3 %	⇨	-0.5 %	-1.9 % (-3.1%～-0.8%)
3月見込み	―		-2.6 %	―

（参考）　前回調査の結果

	1月予測調査	1月補正値	実際の結果 鉱工業生産指数
1月前月比	9.3 %	7.2 % (5.8%～8.6%)	2.2 %

２か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2026年2月生産計画の寄与順位表

低下寄与業種	
業種名	計画前月比
電子部品・デバイス工業	-6.0%
金属製品工業	-5.2%
化学工業	-1.3%
輸送機械工業	-0.6%
石油製品工業	-4.2%

上昇寄与業種	
業種名	計画前月比
電気・情報通信機械工業	14.5%
鉄鋼・非鉄金属工業	4.8%
その他	3.3%
生産用機械工業	1.8%
パルプ・紙・紙加工品工業	5.3%
汎用・業務用機械工業	1.4%

横ばいの業種	
業種名	計画前月比
―	―

（注）業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

2026年3月生産計画の寄与順位表

低下寄与業種	
業種名	計画前月比
電気・情報通信機械工業	-9.1%
汎用・業務用機械工業	-10.7%
輸送機械工業	-4.2%
金属製品工業	-4.8%
その他	-2.2%
鉄鋼・非鉄金属工業	-1.9%
化学工業	-0.5%

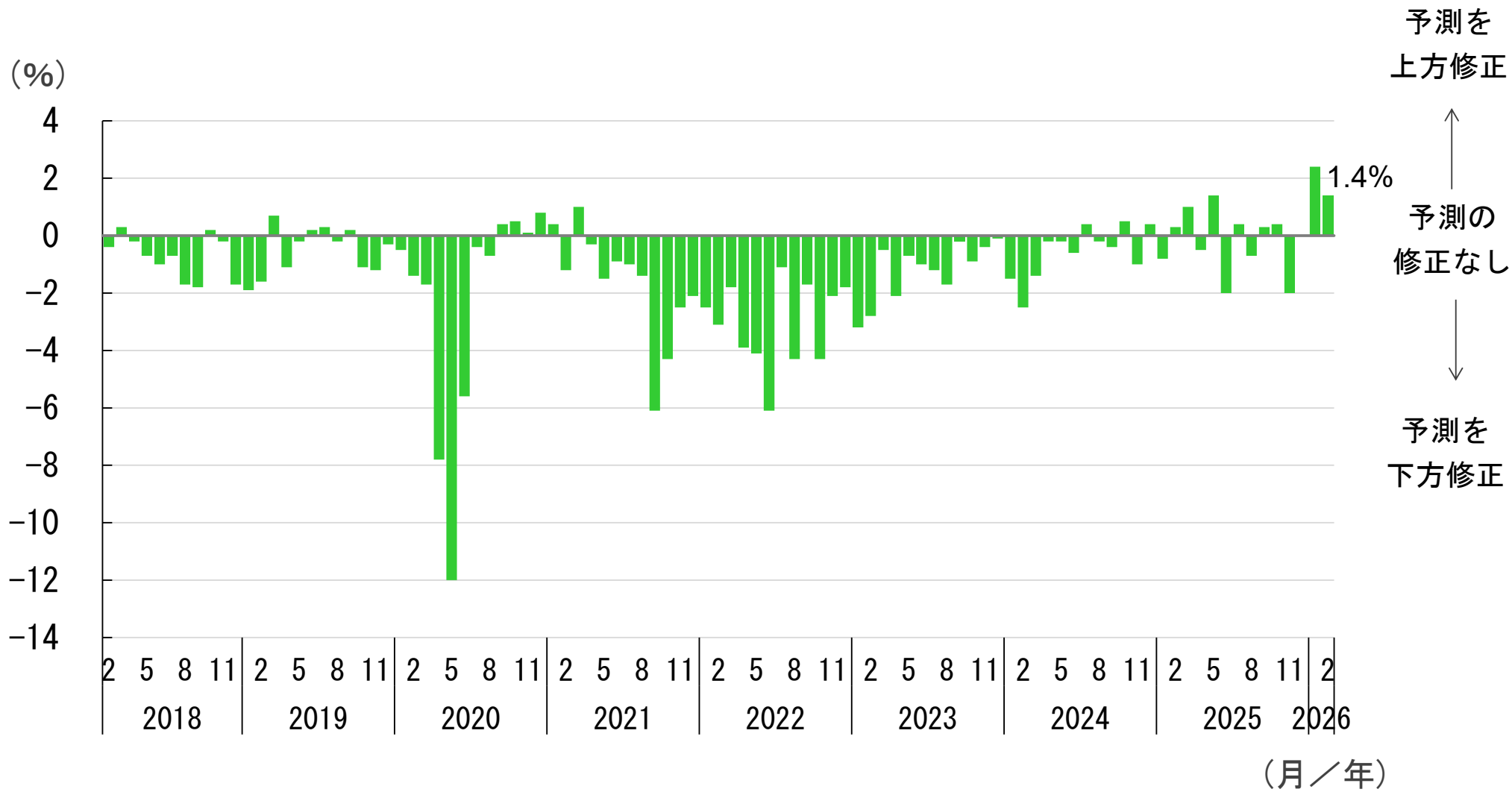
上昇寄与業種	
業種名	計画前月比
生産用機械工業	0.8%
石油製品工業	0.4%
パルプ・紙・紙加工品工業	0.1%

横ばいの業種	
業種名	計画前月比
電子部品・デバイス工業	0.0%

（注）業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

予測修正率の推移

・当月の生産計画が前回の生産計画からどの程度修正されたかを示したものが予測修正率となる。
・今回の調査では、予測修正率は1.4%の上昇。
・生産計画は2か月連続の上方修正となった。

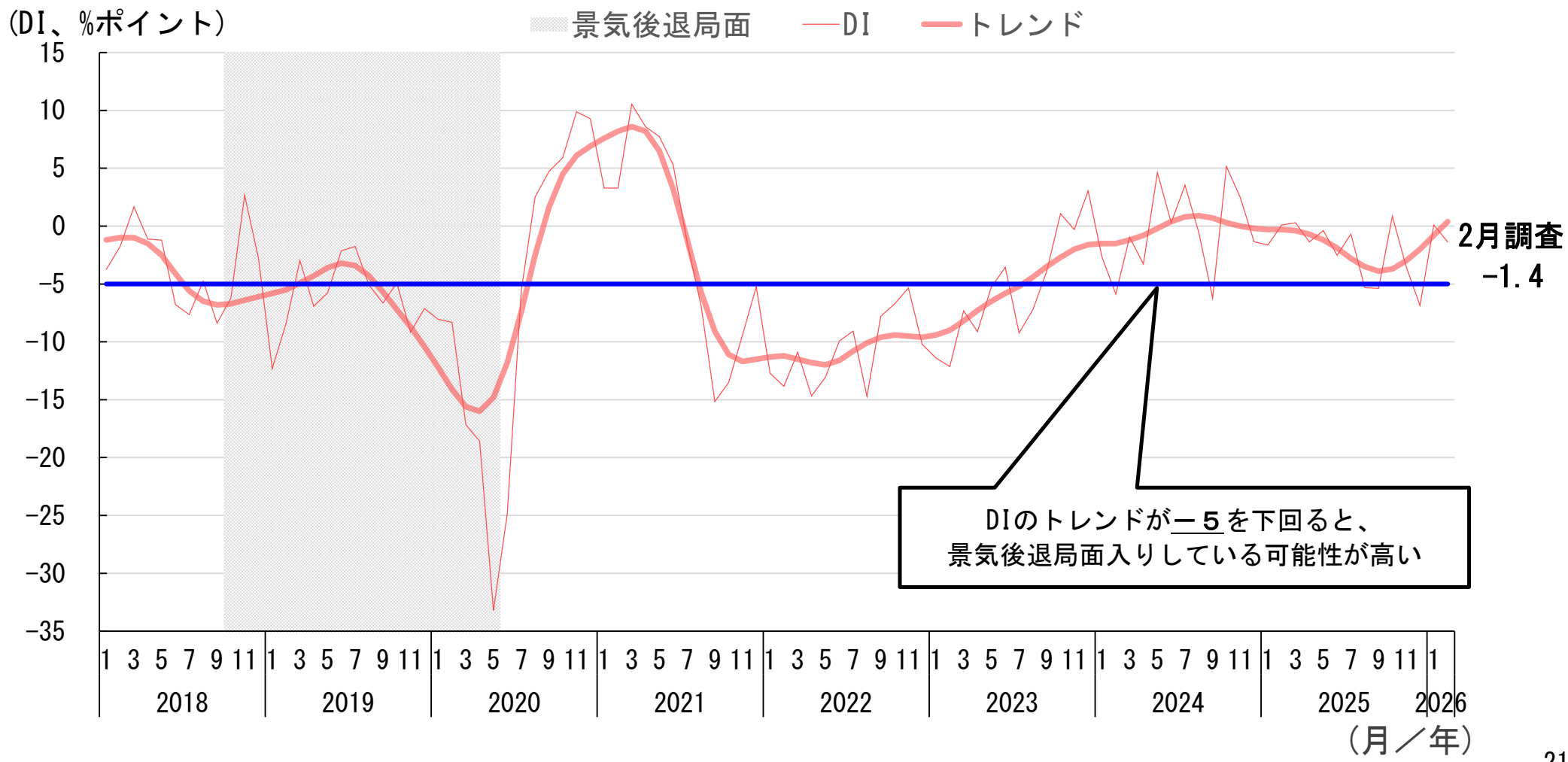


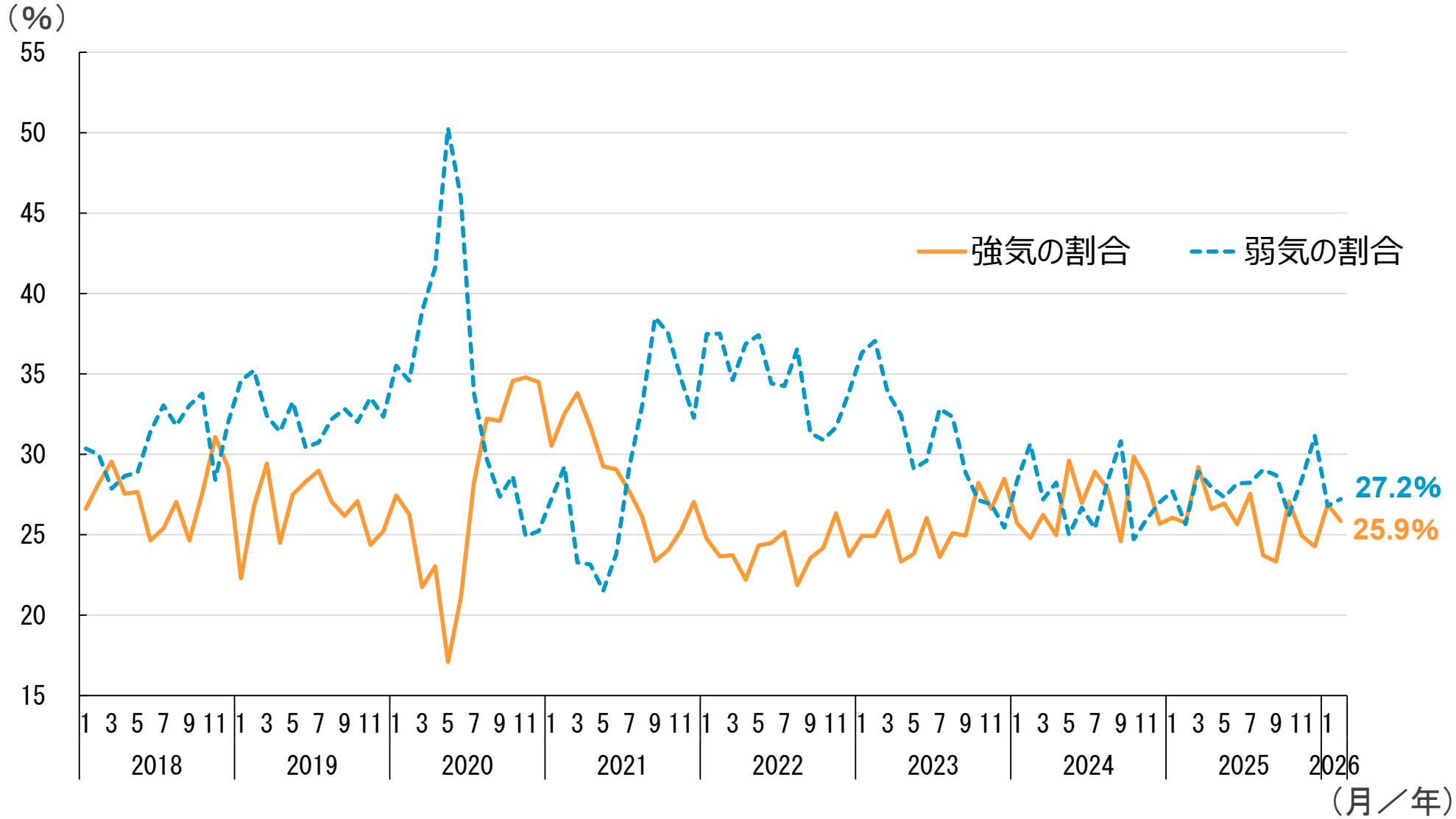
企業の生産活動に対する姿勢（生産活動マインド指標（ＤＩ））

・生産計画を上方修正している企業の割合から下方修正している企業の割合を差し引くことで企業の生産活動マインドを指標（ＤＩ）化。

・ＤＩのトレンドがー５を下回ると景気後退局面入りの可能性が高い。

・2月調査結果のDIは、-1.4（前月の0.1から低下）、トレンドは0.4とー５を上回る水準。



強気と弱気の比率の変化

・2月調査結果のDIの内訳をみると、強気が25.9%、弱気が27.2%となっている。1月と比べて強気の割合は減少し、弱気の割合は増加した。